

健康づくり企業の取組紹介

従業員の健康づくりに積極的な企業の取組みの一例を紹介します！

取組概要

調和のとれたワークライフバランスの実現

勤怠管理システムのクラウド化や「ノー残業デー」の導入、人事評価制度の評価項目に「有給休暇の計画的な取得及び必要に応じた残業時間管理」を設けています。併せて、みなし残業制度の撤廃や、勤務間インターバル制度の導入などの働き方改革を進めています。また、毎月初めの役員会では前月の勤務実態を情報共有するなど、「健康維持」については、社員個人任せにせず組織で対応しています。創業以来の「人」を大切にするという企業理念のもと、健康を維持して長く働いてもらえる職場環境づくりを推進しています。

女性が働きやすい環境の整備

社員の7割を女性社員が占めており、女性管理職比率は2割超です。直営店の店長にも積極的に女性を登用し、女性社員が中心となって商品開発や直営店舗の設計等を行っています。育休、産休制度の活用推奨や小学校入学前までの子を養育する社員に対する「短時間勤務制度」の導入など、同一労働同一賃金も含めた働き方改革関連法の成立以前より、女性やパート従業員が働きやすい職場環境づくりを推進しています。

社員の声

子育てをしながらの仕事は体力的にも精神的にも大変なことが多く悩むこともあると思います。でも、私自身や子供の急な体調不良の時にも上司や同僚の理解と協力があって有休を取り易く助かりました。健康にも気を配ってもらえたとし、保育園の送迎のために時差出勤ができたし、小学校に上がるまでは時短勤務ができるし…社員だけでなく家族にもやさしい会社だと思います。

企業データ

製造業 / 従業員352名(正社員207名)
健康経営優良法人2024(大規模法人部門)認定
とやま健康企業宣言Step2認定(2022年9月)
第1回とやま女性活躍企業認定(2022年9月)



健康経営をサポートする県の取組み

富山県では、働き盛り世代だけでなく若い世代も運動不足や睡眠不足が課題となっています。こうした生活習慣は、メタボリックシンドロームや生活習慣病のリスクを高めていると考えられることから、運動、食事、睡眠など基本的な生活習慣の改善に向けた様々な取組みを実施しています。

富山県民の健康に関するデータ

1日の歩数(20~64歳)

男性：7,185歩(全国29位)

女性：6,056歩(全国37位)

運動不足かも…?

出典：H28県民健康栄養調査

「睡眠で十分休養が取れていない」と回答した割合

男性：40.1%(全国ワースト1位)

女性：39.2%(全国ワースト2位)

よく眠れていないかも…?

出典：第8回NDBオープンデータ

「元気とやまかがやきウォーク」で歩こう！

運動習慣定着に向けて、県公式スマートフォンアプリでウォーキングに取り組もう！目標歩数の達成や健康クイズに正解してポイントを貯めると、健康グッズなどの素敵な賞品が当たる抽選に応募できます！アプリのダウンロードやポイントの獲得方法等の詳細は、県のWEBサイト「とやま健康ラボ」で確認できます。



かがやきウォーク 🔍 検索



就活生必読

健康経営を行う働きやすい企業を選ぼう！

働きやすい企業選びのコツ教えます！

健康経営って何？

経営者が、従業員等の健康づくりを経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業が健康経営の取組みを進めることで、従業員の活力や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価上昇など、従業員と企業双方のメリットにつながることを期待されています。

就活生の皆さん、就職先を検討する際に、企業の健康経営の取組みもぜひ参考にしてみてくださいませんか？

NEXT PAGE

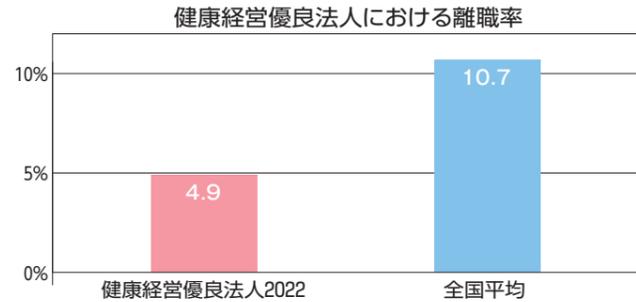
- ・就職先選びに健康経営の取組みが重要になる理由？**働きやすいって本当!?**
- ・健康経営に積極的な**企業の探し方は?**

働きやすいってホント？ データで見る健康経営企業

なぜ就職先選びに健康経営の取組みが重要なのか、その理由を知っておこう！

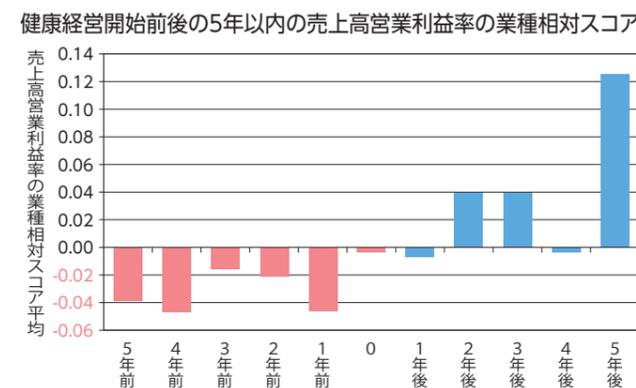
離職率が低い！

健康経営が進んでいる企業は、一般労働者の離職率と比較して離職率が低くなっています。企業では、身体健康だけでなく、メンタルヘルス不調者の予防やサポート体制の整備など、心の健康づくりにも取り組んでいます。



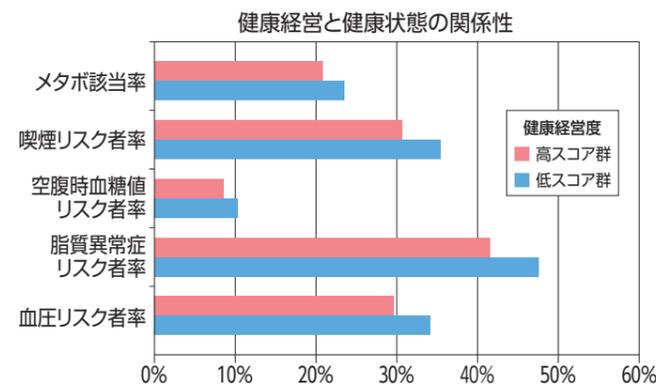
業績が向上！

健康経営を始めた企業では、健康経営を開始した時点を0とした前後の最長5年以内の売上高営業利益率の業種相対スコアの平均値を比較したところ、健康経営を開始した後の5年間では、業種相対スコアが正の値を示す傾向があります。健康経営を進めることが、企業の業績向上につながると思えます。



健康的に働ける！

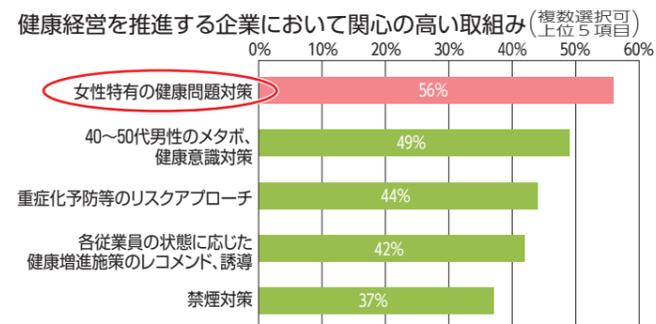
健康経営が進んでいる企業では、従業員のメタボ該当率や血圧リスク等の健康リスクが低く、年間医療費平均も低くなっています。体調不良などに伴う従業員一人当たりの労働生産性損失は、年間76.6万円*ともいわれ、従業員が健康な企業は労働生産性も高いといえます。



*H30横浜市調査結果より

女性も働きやすい！

健康経営が進んでいる企業では、女性特有の健康問題対策への関心が高まっています。女性が働きやすい社会環境の整備を進めることが、生産性向上や企業業績向上に結びつくと考えられるからです。



資料：健康経営の推進について (R4.6経産省)、健康経営における女性の健康の取組みについて (H31.3経産省)

健康経営に積極的な企業はこうやって探そう！ 健康経営に関する認定制度

国や県の認定制度や表彰制度を参考に、企業の取組みについて知っておこう！

とやま健康経営企業大賞

企業で働く従業員に向けた健康づくりの取組みについて、特に先導的かつ他の企業への横展開が見込まれる優れた取組みを行う企業等への県知事賞。毎年5社程度を表彰しており、従業員の健康づくりにおいて積極的な取組みを行っている企業が受賞しています。

受賞企業の取組みは県のWEBサイト「とやま健康ラボ」に掲載されています。→



(令和5年度受賞企業の皆さま)

とやま健康企業宣言

経営者が、健康経営に取り組むことを宣言する制度で、富山県と協会けんぽ富山支部、健康保険組合連合会富山連合会の3者が共同して推進しています。宣言後に取組みを進めることで2段階で認定を受けることができ、令和6年1月末現在、921企業が宣言し、認定に向けて取組みを進めています。

宣言企業や認定の状況は県のWEBサイト「とやま健康ラボ」に掲載されています。→



健康経営銘柄・健康経営優良法人

健康経営銘柄は経済産業省が東京証券取引所と共同で選定し、健康経営優良法人は経済産業省が制度設計を行い日本健康会議が認定しています。大規模法人部門と中小規模法人部門があり、それぞれ上位に入る法人は、「ホワイト500」(大企業)、「ブライト500」(中小企業)と呼ばれ、上場企業のうち特に優れた取組みを実践している企業は「健康経営銘柄」に選定されます。制度の詳細や認定状況は経済産業省のHPに掲載されています。→

